



彫金加工ベゼル「昇龍」

「衝撃丸」の前立を、ベゼルで表現。兜の製作にも携わった彫金師・小林正雄により、勇壮な龍の姿を刻み込みま

した。彫刻はすべて手作業で行われ、匠の魂を宿した一点物としての風格を醸し出します。





鍛造成形ベゼル・バンド「鉄錆地」

「衝撃丸」の兜鉢の質感を、ベゼルとバンドで表現。鋳物師・菊地正直による砂型をベースに、鍛造成形で鉄錆の

荒々しい風合いを再現。 筆や霧吹を使って砂型 に模様をつけ、金属表面 に独特の質感を出すに は熟練の技を要します。





小林正雄

滋賀県大津市で祖父の代から続く錺師の 三代目。京都に彫金を学び、彫金師としても 活躍。神社仏閣の金具の制作や文化財の 復元のほか、茶道具や美術工芸品など、幅 広い分野の錺金具製作を手掛ける。日本 を代表する金属加工作家のひとりです。



菊地下直

1604年創業、山形城主の御用鋳物師として発祥した菊地保寿堂の十五代目。幼年より人間国宝である伯父の指導を受け、実父である十四代菊地正直に師事。伝統技法を守りつつ新たな創造に挑む作品は、国内外で高く評価されています。